

Global Financial Powerhouse: 拡大する、セキュリティとコンプライアンスを守り、透明性を備えた RPA



組織の概要

ニューヨーク市に本社を置くこの米国の多国籍投資銀行および金融サービス会社は、2.5 兆ドルを超える資産を保有しており、世界中で 25 万人を雇用しています。

課題

同社は、RPA の導入に際して次の 3 つの大きな課題に直面しました。

- **規制遵守**は、事業を営む世界中のさまざまな地域で遭遇する複雑で多岐にわたる規制のため、非常に大きな問題となりました。
- **ロールベースのアクセス制御**は、個々のユーザー（開発者、ビジネスユーザー、および生産労働者を含む）に応じてニーズが異なっており、必要なアクセス権のレベルも異なっていたために必要でした。
- **ボットのライフサイクルの管理**も課題となりましたが、これは同社が基本的な RPA から機械学習に移行し、光学式文字認識 (OCR) 技術が複雑で大幅なプランニングと監督が必要であったためです。

ソリューション

オートメーション・エニウェアの Bot Insight は、これらの課題の解決に最適なソリューションであることが判明しました。各ボットが何をしたのかを正確に可視化できるようにすることにより、同社が直面したすべての国際、国内、地域の規制問題に対処するために必要な監督を行えるようになりました。また、Bot Insight により、各カテゴリーのユーザーにロールベースのアクセス制御を作成することができたため、同社はボットのライフサイクル全体と、転送中のデータと保存中のデータの両方を把握できるようになり、戦略的なプランニングを実行できるようになりました。

メリット

1,000+

稼働中のボット

92%

新しいアカウントをシステムに追加する時間の短縮

自動化されたプロセス
● 顧客サービス

業界
金融サービス

「Bot Insight がなければ、世界中のコンプライアンス要件を満たすために必要な透明性を得ることはできなかったでしょう。」

— エグゼクティブディレクター兼テクノロジーコーポレートおよび投資銀行のロボティクスプログラム長

ストーリーの詳細

セキュリティとコンプライアンスの要件に加えて、この金融サービス会社は他にも重大なニーズを抱えていました。

たとえば、導入された RPA プラットフォームおよびアナリティクスソリューションは、従来のメインフレームテクノロジーや新しいマイクロサービスベースのアプリケーションといった、非常に多様なソフトウェアとツールをサポートする必要がありました。ボットフレームワークは、必要に応じて世界中の事業所で再利用可能にするため、メタボットを使用しなければならず、システムは、水平方向に拡大する必要がありました。そして、それは常に利用できるように、フォールトトレラントでなければなりません。

RPA を導入するための同社のロードマップは、ますます高度化するツールセットを段階的に導入することでした。それは、基本的な RPA (オートメーション・エンジニア製) から始まりました。その後、その基本的な RPA をメインフレームエミュレータープラグイン、統合監視ソリューション、Citrix 仮想化テクノロジー、OCR テクノロジー、スプレッドシート管理などのアドオンソリューションと統合する必要がありました。次の段階は、機械学習を追加することでした。こうして、インテリジェントな意思決定を支援するためのアシスタントボットと、顧客を支援するチャットボットを導入することができました。最後に、高度なコグニティブオートメーションにより、RPA ソフトウェアが、IBM、Wipro、Mphasis などのパートナーが開発したソフトウェアと統合されました。これはすべて、アジャイル開発手法を使用して行われました。

「ロールベースのアクセス制御は、当社がデータを安全かつプライベートに保ち、規制を遵守できるようにするために不可欠でした。それが Bot Insight により実現できたのです。」

— エグゼクティブディレクター兼テクノロジーコーポレートおよび投資銀行のロボティクスプログラム長

オートメーション・エンジニアについて

オートメーション・エンジニアは、アイデア、思考、発想を通じて企業の発展に貢献する人々を支援します。Automation Anywhere は、世界で最も高度なデジタル ワークフォース プラットフォームを提供し、ビジネス プロセスを自動化して人を解放することで、より人間らしい仕事に集中できるようにします。

Automation Anywhere  www.automationanywhere.com/jp

 @AutomationAnywh

 contact_japan@automationanywhere.com

Automation Anywhere ©2019

2019 年 2 月、第 1 版

